

中の坪公園改修工事に伴う蒸気機関車の移設、保存に関する請願について、賛成の討論を行います。

11月1日の臨時議会において、中の坪公園機関車移設補修工事費1,309万円を一般会計補正予算(第3号)として町より上程され、その議案に対する賛成討論として、私はなぜ機関車を移設、保存すべきかとの観点から私の思いを申し上げました。今回は町民の皆様から出された請願であり、その中での保存、移設に対する思いは私の思いと全く同じでありました。よって、今回は臨時議会の賛成討論と同じことを申し上げるつもりはありません。請願に対しての所見を申し上げます。

さて、まちづくり、まちおこしは、それを誰がやるのでしょうか。地域のコミュニティーづくりは誰がやるのですか。議会ですか。

今回の請願は、まさに地域として、地域住民として、自分たちの住んでいる地域にある歴史的にも貴重なものを活用して、まちづくり、地域づくり、まちおこし、そしてこのことを通して地域のコミュニティーをつくっていこうという熱い思いの請願です。請願者のある方は、国そして地域の繁栄を担ってこられた先輩としての思い、そして未来を担う子どもたちの思いも熱く語られました。また、同僚議員のある方は、この機関車を設置した当時の町長の思いを考えれば反対はできないとも語られました。請願の一節に、維持管理にも地元町内会として協力も惜しまないと語られ、また豎坑櫓を加えたぼた山と関連づければ、新たなまちおこしに活用できると強く思うと訴えておられ、このことから地域の皆さんのまちおこしへの熱い思いと将来への夢を強く感じられたわけです。

また、今回の機関車移設、保存については、町行政の運営を担っている町長や所管課も熱い思いを持ち、また町の潤いや活気あるまちづくりの一端を担っている商工会も移設、保存、そして将来への熱い思いの要望書も出ているわけです。このように、町も、直接関係ある地域も、そして商工会も熱い思い、エールを送られているのに議会だけがこれを否定しようとしていることは、私はとても信じられないし、他自治体でも例がないことだと思います。

私は、このことを考えるとき、地域の皆さんの要請として思い出し

ますのは、平成20年6月に松ヶ丘町内会から「コミュニティの部屋」の設置の請願が出され、他町内会とのバランスや不公平ほか、いろいろな意見や声がありましたが、継続審査を重ね、22年度予算で設置工事の予算900万円が採択されました。

このほかにも、地域からの要請に答え、大きな批判の声があっても、何千万円、何億円という事業費でも認めてきました。

それに比べ、今回の請願は、これまでの一地域や一団体の請願と違って、町も地域も商工会も、皆がこれから活気ある志免町のまちづくり、コミュニティづくりに活用する、必要であると訴えておられるのに、議会だけが否決をしたならば、議会への不信感、そして町民の皆様へのまちづくりへの意欲を失墜させてしまうことになります。

また、志免町の歴史上、大きな禍根を残すことにもなります。

まちおこしは、何事も一朝にしてできるものではありません。

御存じですか。柳川の川下り、昭和50年代、クリーク、水路は全て埋めてしまうということになっていたものを、市職員の広松氏がこれを保存すべきと訴えたことによって今の川下りが実現し、観光産業として大きな成果を上げているんです。

また、最近の話題では、私も産業遺産の関係で大変懇意にしておりますが、「軍艦島を世界遺産にする会」の坂本会長、彼も孤軍奮闘、いろんな声と戦ってき、その結果、あの廃墟が世界遺産になろうとし、今では国内はもちろん世界各地から観光客が押し寄せる一大観光地となっております。佐賀の吉野ヶ里遺跡も、町の一職員の保存しようという熱い声によって今になったわけであります。柳川も軍艦島も吉野ヶ里も、誰が今の状況を予想したでしょうか。

周りは反対の意見が大勢だったわけであります。

今回の請願は、何度も申し上げますが、行政、地域、商工会、そして未来を担う子どもたちの熱い声であり、柳川や軍艦島とは申しませんが、請願者も言うておられる堅坑櫓、ぼた山、機関車、これらに関連づけたものが大きな評価を得るかもしれません。また、このことをほうふつさせるような今回の請願、そんな気もいたします。

観光的にも人が訪れるには、そこにストーリー、物語がないといけないということが語られております。機関車があることによって、

この物語もさらに人を感動させるわけであります。形あるものがなくなってしまうえば、全てはゼロであります。

これまでの放置された保存の経過や保存への費用の議論は当然必要です。しかし、将来を見据えたまちづくり、まちおこしへの純粋で熱い思いが込められた今回の請願、私たち議員は謙虚に耳を傾け、その思いを理解し、実現してあげるには何をすべきか、どうやればよいのかということを考え、行政にも意見を言い、汗をかくことも議会そして議員の務めであり、町民から期待されている部分でもあります。ましてや多くの皆さんの思いに反して議会だけがその思いを否定したとなれば、私たちは歴史上何と釈明できるでしょうか。どうか議員各位の温かい思いをもって採択いただきますよう心からお願いし、賛成討論といたし